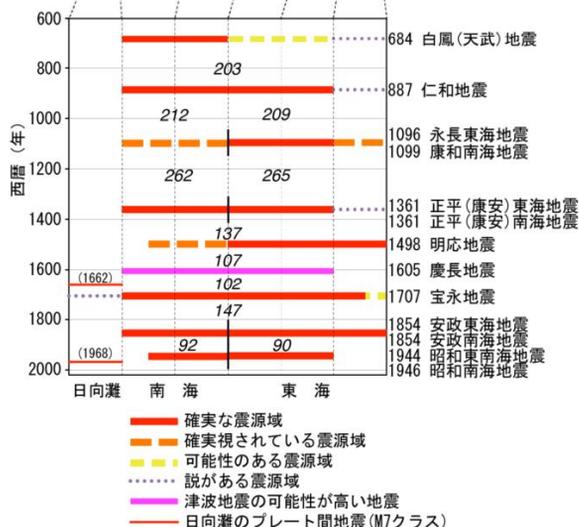
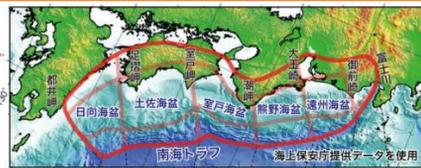


南海トラフ巨大地震では、大阪湾や瀬戸内海へも津波がすぐに到達との警報を發表します!



「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(地震調査研究推進本部)より

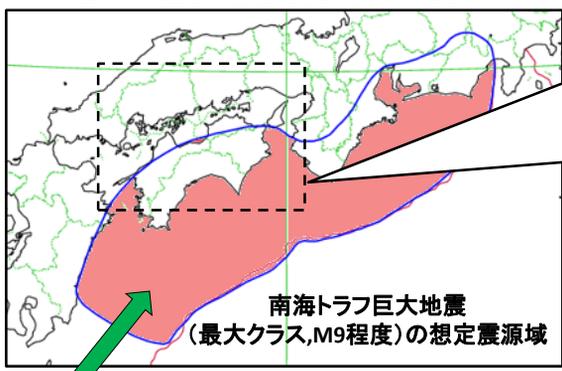
南海トラフ巨大地震とは

南海トラフ沿いでは大地震が過去から繰り返し発生しています。

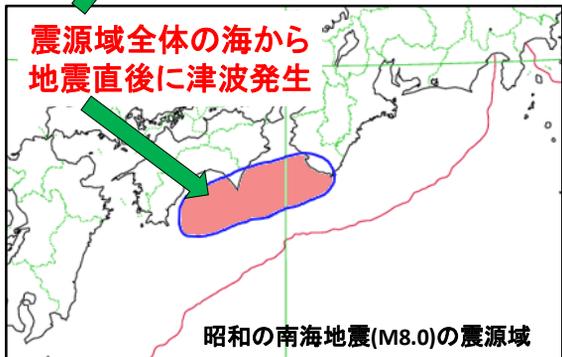
1946年の昭和南海地震は、震源域の範囲がほぼ沖合で、地震の規模もM8.0でしたが、もし駿河湾から日向灘沖にかけての領域がすべて震源域となる巨大地震が発生すると、**東日本大震災と同じような最大クラス(M9程度)の地震の揺れと津波が発生し、大阪湾や瀬戸内海にもすぐに津波が来襲するおそれがあります。**

南海トラフ巨大地震の震源域

震源域とは、地震により地下の岩盤にズレ(破壊)が生じる領域です。震源域が海の場合、震源域全体から津波が発生し、周囲に広がっていきます。



- 震源域
- 地震直後に津波が発生する海域



昭和の南海地震は大阪湾・瀬戸内海への津波到達に猶予があったが、南海トラフ巨大地震は震源域が広く、**大阪湾・瀬戸内海にもすぐに津波到達のおそれ**

巨大地震では直ちに避難する必要があります

直ちに逃げる

津波警報は、津波による災害の発生が予想される時に発表される重要な情報です。



気象庁パンフ

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunamikeihou/index.html>

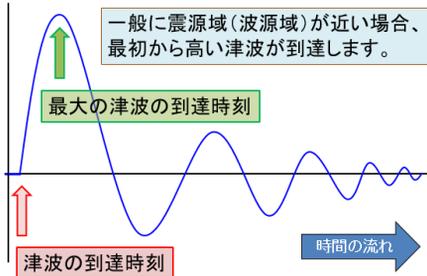
南海トラフの巨大地震と判定された場合、気象庁は**巨大**や**高い**というキーワードを用いて津波警報を発表します。

このような津波警報が発表された場合、東日本大震災のような津波が予想されますので、直ちにより**高い場所**、より**海から離れた場所**に避難しましょう。

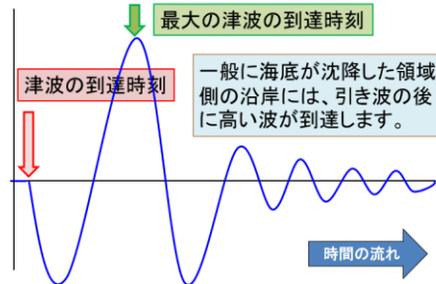
南海トラフの地震に限らず、海岸付近で地震の揺れ(長く続く揺れは高い津波のサイン)や津波警報等を見聞きした場合は、**直ちに避難を開始**してください。

様々な津波の来襲パターン

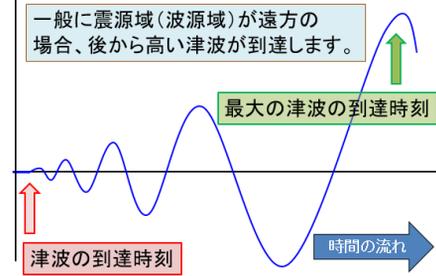
最初に高い津波が到達する場合



津波が引き波で到達する場合



後から高い津波が到達する場合



津波には様々な来襲パターンがありますが、気象庁が情報で発表する「津波の到達時刻」とは、津波の先端が到達し、海面が変化し始める時刻です。**高い津波はその後に来襲します**ので、津波警報等が発表された場合は直ちに避難し、**警報等が解除されるまで避難を続けてください。**